

第18回（2023年度）協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業等の活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

こが 英一 氏 (パナソニックホールディングス(株))

協会誌特集企画による協会の価値向上と発展への貢献



古賀英一氏は、2018年から6年間協会誌編集委員を務め、セラミックスが果たしうる社会貢献テーマの発信とともに、学術と技術分野の連携を図り、当協会の発展・活性化に寄与している。特に、8本の特集企画（うち3本単独）を担当し、以下に示す特色の成果をあげている。

- ・喫緊の社会課題解決や実践的技術進化に関する企画を他委員と連携して特集化、社会変革や産業発展への貢献を発信した。（特集内容：エネルギー・熱問題の解決につながる全固体電池や熱設計・制御、ICT社会の進展を実現する技術の最新動向）
- ・多岐に渡る要素技術と高品質が要求されるセラミックス産業の研究開発・製造現場に向け、周辺動向も含むテーマを選出、学術と技術分野の一層の連携を図った。（特集内容：セラミックスの出発点である原料・粉体、デバイス化に不可欠な電極や製造装置、高信頼性化技術）
- ・製造装置、電極、通信等の関連分野の研究開発者にも積極的に執筆を依頼、周辺技術動向を含め、量産技術やデバイス開発に役立つ実践的情報提供にも尽力した。

以上の活動により協会の価値向上、学術・技術の連携発展に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 2007年3月 名古屋工業大学大学院 物質工学専攻修了 博士（工学）。1991年 松下電子部品(株)セラミック（事）セラミックR&Dセンター。1994年 北海道松下電器(株)技術部などを経て、現在、パナソニックホールディングス(株)テクノロジー本部 シニアリサーチャー。

はやし まきこ 氏 ((株)ノリタケカンパニーリミテド)

化学分析方法規格化および化学分析小委員会運営に対する貢献



- ・1998年に株式会社ノリタケカンパニーリミテドに入社し、ガラスやセラミックスなど無機材料の開発業務に従事。
- ・2013年より化学分析業務に従事し、化学分析小委員会の社内業務補佐を務めた。
具体的には、炭化けい素認証標準物質作製（2013年3月～）、協会規格「アルミノけい酸塩質原料の蛍光X線分析方法」（2016年）の共同実験を当時の弊社委員と一緒に実施した。
- ・2018年度より日本セラミックス協会 標準化委員会 化学分析小委員会に委員として参加。
- ・協会規格JCRS113-2019「ファインセラミックス用窒化けい素微粉末の蛍光X線分析方法」の作成に参加し、標準化に貢献した。
- ・2020年度、2021年度にコロナ禍で活動が難しい中、化学分析小委員会の幹事を担当して主査を補佐し、標準化委員会のオブザーバーとして標準化事業に貢献。

以上の活動により協会が推進する標準化事業（化学分析方法規格化に対する貢献）に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1998年名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程修了。同年株式会社ノリタケカンパニーリミテド入社。現在に至る。

わたなべ おさむ 氏 ((株)LIXIL)

陶磁器質タイルの研究開発・製造技術開発と陶磁器部会活動活性化への貢献



渡邊修氏は伊奈製陶(株)((株)INAXを経て現(株)LIXIL)入社以来、40年近くに渡り陶磁器質タイルの研究開発・製造技術開発に携わり技術の発展に尽力するとともに、その成果を国内外に学会発表、論文投稿、雑誌掲載、専門書執筆を通じて発信してこられている。その間に粘土原料調達会社(ユニバーサルクレー(株))に出向し、関連業者との連携を図りながら長期的な視野で陶磁器製造に欠かせない粘土原料の安定供給にも携わってこられた。

2006年3月には東北大学大学院環境科学研究科にて学位を取得され、産学両面で陶磁器分野の発展に向けて活躍されている。

2006年以降現在に至るまで日本セラミックス協会陶磁器部会幹事としても活動し、2016年からの3年間は部会長として業界を越えた陶磁器産業の発展にも尽力され、部会、支部を横断する取組として、陶磁器産業の主要地域である東海地区、九州地区の交流を積極的に進め、2020年2月には陶磁器部会として初めて九州地区で講演会を主催するなど、活性化に向けた取り組みをけん引されている。

以上の活動により協会の発展と陶磁器部会活動に大きく貢献した。よって協会活動有功賞に値するものとしてここに推薦する。

略歴 1983年千葉大学大学院工学部工業化学専攻修士課程修了。同年伊奈製陶(株)(現(株)LIXIL)入社。会社所属のまま2005年東北大学大学院環境科学研究科博士課程入学。2007年修了。博士(環境科学)。2016年4月から2020年3月まで陶磁器部会会長。現在に至る。